

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2014-230743(P2014-230743A)

【公開日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2014-85536(P2014-85536)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

A 6 1 B 18/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 1 0

A 6 1 B 17/36 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月14日(2017.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者眼の組織にレーザ光を照射するレーザ治療装置であって、

レーザ光源によって出射されたレーザ光を走査し、前記組織においてレーザ光が照射される位置を切り換えるレーザ走査部と、

前記レーザ走査部の動作を制御するレーザ走査制御部とを備え、

前記レーザ走査制御部は、

前記組織上の第一スポットに対してレーザ光の照射を開始してから、前記第一スポットへのレーザ光の照射を休止させる休止時間を経て、前記第一スポットへのレーザ光の照射を再度開始させるまでの照射サイクルにおいて、前記休止時間中に前記第一スポット以外の1または複数の第二スポットに対して前記レーザ光を照射させることが可能であり、

前記照射サイクルを複数回繰り返すことで、複数のスポットの各々に対してレーザ光を複数回断続照射させる断続的照射治療を実行することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項2】

前記断続的照射治療を実行する場合、

前記レーザ光源から出射されるレーザ光は、オンとオフが交互に繰り返されことでパルス状に前記組織に照射され、

前記レーザ走査部は、前記組織に照射されるレーザ光のパルスを走査し、

1回の前記照射サイクルにおいてレーザ光を照射させるスポットの数に応じて、前記レーザ光源が出射するパルスの繰り返し周波数を調整する繰り返し周波数調整部をさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載のレーザ治療装置。

【請求項3】

前記レーザ走査制御部は、レーザ光を照射する複数のスポットが共通している複数回の前記照射サイクルを連続して実行する場合、前記複数のスポットにおける各々の中心間距離を、互いに隣接する2つのスポットの中心間距離よりも長い距離離間させることができることを特徴とする請求項1または2に記載のレーザ治療装置。